

第1回港湾局事業適正評価委員会 評価結果

平成30年6月28日に実施した第1回港湾局事業適正評価委員会において、港湾局が実施する以下の事業について評価を実施した。
その結果を事業適正評価委員会設置・運営要綱 第11条に基づき、以下のとおり公表する。

事業名	概要	評価及びコメント
三池港船客待合所	<p>三宅島東部に位置する三池港について、老朽化の進行した船客待合所の建替整備を実施する。</p> <p>船の乗降客等の利用エリアと荷捌きエリア分離による安全性向上や、日除け雨除け施設の一体的な整備による利便性向上を図る。</p> <p>火山噴火時の臨時避難施設として、噴石にも耐えられる構造を備える。</p> <p>延床面積約1,300㎡、RC造（2階建て）を整備予定。</p>	<p>事業の目的、計画地の適正、規模及び事業費の妥当性等について、現段階では、概ね妥当であると評価した。</p> <p>今後、基本設計等で工程・事業費、ライフサイクルコスト、他施設との連携を踏まえた防災機能等について、丁寧に検討を進めていくこと。</p> <p>振興策として、本整備による情報発信力の向上や地域の人に愛される施設となることを期待する。</p>
有明親水海浜公園	<p>有明北地区に位置する海上公園内の水域において、浅場となる海浜を整備し、多様な水生生物の生息空間を創出するとともに、水辺や生き物と触れ合うことのできる場を提供する。</p> <p>26.5haの公園水域のうち、西入江に砂浜（約0.2km）、東入江に砂浜、磯浜（約0.3km）を整備予定。</p>	<p>事業の目的、計画地の適正、規模及び事業費の妥当性等について、現段階では、概ね妥当であると評価した。</p> <p>今後、基本設計等で、整備内容・事業費について十分検討を行うとともに、地域住民等との調整や水辺における事故防止に関しても十分配慮すること。</p> <p>有明レガシーエリアのまちづくりなど、周辺整備との整合を図りながら整備スケジュールを検討すること。</p>

(参考)

審査項目		
① 事業の目的	② 計画地の適正	③ 規模の妥当性
施設整備の必要性は適正か	計画地は適切か	施設の面積、延長などの規模は適切か
整備着手の時期は適切か	利用者の利便性は適正か	④ 事業費の妥当性
各種計画との整合はとれているか	地盤条件等を考慮しているか	事業費の規模は適正か
代替手法との比較検討はされているか	周辺環境との整合性はとれているか	コスト増のリスクに備えているか
	敷地内の配置等を精査しているか	⑤ その他
		周囲（住民、交通、工事等）への
		影響検討は適切か
		工期の考え方は適切か